

防災科研ニュース

特集

- ・ 科学技術週間「一般公開」と防災教育
- ・ 防災科研「夏休み防災教育」の実践
- ・ 無関心層を対象としたDr.ナダレンジャーの実験教室
- ・ 自治体職員を対象とした防災講座
- ・ JICA研修・専門家派遣
- ・ モンゴルにおける地震被害軽減のためのセミナー
- ・ 第5回火山都市国際会議における取り組み
- ・ 雪を知り防災に活かす 雪氷防災研究センターの活動から
- ・ 「ケア」としての防災教育

- ・ 「役に立つ防災技術」を！（EqTAPからDRHプロジェクトへ）
- ・ 地域のために地域で取り組む防災教育
- ・ 自然災害情報室からの情報発信

行事開催報告

- ・ 第4回緊急地震速報展・講演会を開催

災害調査研究速報

- ・ 平成19年(2007年)新潟県中越沖地震

受賞報告

- ・ 片山恒雄前理事長が土木学会賞(国際貢献賞)を受賞



特集

防災科研における防災教育・研修への取り組み

防災に関する研究開発の最終的な目標は、「自然災害から国民の生命と財産を守ること」と言えるでしょう。そのためには、自然災害に関する研究・開発の現状や成果を国民の皆様にはわかりやすくお伝えすることが重要となります。

防災科研では、昨年4月の第2期中期計画のスタートと同時に、広報普及課を発足させ、研究部門と一体となり、研究所の研究開発成果等の広報・普及活動に取り組んでいます。

主な活動としては、「科学技術週間一般公開（一般、小学生向け）」、「つくばびっ子博士（小学生向け）」、「ミニ博士コース（中学生向け）」、「サイエンスキャンプ（高校生向け）」、「団体による研究所見学（一般、高校生、専門家向け）」、「研究所成果発表会（専門家、一般向け）」、「防災講座（自治体職員、一般向け）」、「Webでの情報発信」、「防災科研ニュース発行」などが挙げられま

す。また、海外の研究者・技術者を対象としては、「JICA研修」や「国際シンポジウム開催」などに取り組んでいます。さらに、各研究部門主体の活動としては、「公開実験」や「実験ビデオ公開」、「シンポジウム開催」等、様々な形での広報・普及活動が行われています。

今回の特集号では、防災科研におけるこれらの取り組みのうち、防災教育・研修といった要素を持つものについて概要をご紹介します。これらの活動は、まだ「防災科研における防災教育・研修」と言えるほど体系立ったものではありませんが、皆様からご意見をいただき、今後、より良い活動へと展開していくための参考にさせていただきたいと考えております。

本特集号に対するご意見・感想につきましては、裏表紙記載のメールアドレス宛にお寄せください。